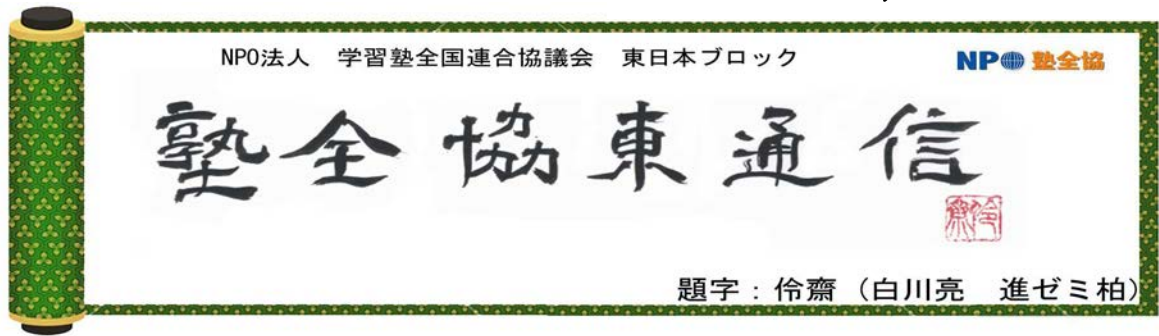


2016年7月



全国会長就任あいさつ

NPO塾全協全国会長 沼田広慶
北辰館スクール（千葉件 松戸市）

この度、全国会長に就任致しました沼田広慶です。皆さまには、東日本ブロック理事長を務めておりました期間、あたたかいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。あらためて心より御礼申し上げます。

後田多前会長は東西ブロックの融和と交流を促進し、外に対してはゴルフ外交等を通じて、多くの業界団体や業界要人と交流し、目に見えないところでも、NPO塾全協と業界の発展に大きな貢献をなさいました。小生は人脈においてもトップリーダーとしての力量においても



後田多前会長には遥か遠く及びません。しかし、NPO塾全協を大切に思う気持ちだけはいささかも劣るところはないと自負しております。微力ながら、先人の皆様の労苦と我々に託された夢をしっかりと心に受け止め、会員の皆様のために全力を尽くす覚悟であります。

基本的方針としましては後田多前会長と同様、東西ブロックの融和と交流、そしてNPO塾全協と業界の発展を目標に掲げ、その達成のために努力したいと思います。特に、会員一人一人の皆様がさらに一層満足して活動できるような組織に成長させることが大切であると考えます。また、東西ブロックの内藤理事長と山下理事長、そして各常任理事の方々には全幅の信頼を持って、各ブロックの活動をお任せしたいと思っております。私には至らぬ点、多々あろうかと思いますが、会員の皆様そして役員の皆様のあたたかいご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

NPO 塾全協の今後

NPO 塾全協東日本ブロック理事長 内藤 潤司

ソロモン総合学院（埼玉県 狭山市）

先の塾全協の総会で新しく理事長に選ばれました。一筆をとということでございますので、現在考えていることの一端を述べたいと思います。

1、NPO塾全協の先輩方が築いてきた、東京本部、千葉、埼玉の3会場で開催される進学相談会の充実発展をさらにしたいと思っております。今年から、東京本部主催の進学相談会では、大学も加えるよう、稲葉副理事長が、奔走してくださっております。

2、塾全協といえば、研修会が従来から盛んでした。11月3日の全国研修会は星野勝弘理事が中心になって、企画準備して下さっております。さらに、今年から各3地区で3回以上の研修会を定着させていきたいと思っております。昨年来、国の補助金事業も盛んになり、中小企業診断士、サポート企業などの指導を受けながら、触覚を伸ばして行きたいと思っております。

3、さらに教材教具展を充実させたいと思っております。Ipatを中心にしたソフト、情報機器の発展は、看過できません。山本理事が孤軍奮闘してくれましたが、さらに充実したいと思っております。

4、2020年に向けての英語改革への対応もしっかり行いたいと思っております。望月理事が、British Hills 企画を全面的に引き受けてくださいました。企画を期待しつつ、参加という形で協力したいと思います。40年来のカナダ人の友人が、トロントに住んでおりますので、夏休みにカナダ研修をしたいと個人的考えております。皆様のご理解が得られたら、企画したいと思っております。

5、さらに各塾の成功例、失敗例を出来る限り共有し、会員にメリットになる活動を一層進めたいと思っておりますので、ご理解、ご協力お願いします。そして塾業界が少しずつ一致協力する「うねり」の一翼を担えればと願っております。



NPO 塾全協 平成 28 年度 役員名簿

役職	担当	氏名	塾名	電話	FAX
全国会長		沼田広慶	北辰館スクール	047-364-3216	047-364-7046
全国事務局長	兼東日本ブロック広報局長	中村基和	むさし野ゼミナール	03-3381-6775	03-5385-4833
東日本ブロック					
理事長	埼玉地区進学相談会実行委員長	内藤潤司	ソロモン総合学院	04-2959-3750	04-2957-4022
副理事長	進学対策局長	稲葉秀雄	秀和教育センター	04-7163-4601	04-7163-4602
事務局長		中山和行	中山塾	049-296-1111	049-296-1111
常任理事	財務局長	山本太志	四季青舎	04-7131-2263	04-7131-6010
常任理事	研修局長	星野勝弘	オンフット進学会	04-7100-3360	04-7100-3361
常任理事	事業局長	星野重治	学習塾マインズ	048-965-5257	048-965-5258
理事	千葉地区進学相談会実行委員長	斎藤由紀	明和学院	04-7174-8256	04-7175-6599
理事	BH合宿担当	望月玄一郎	OMEGA 個別指導	049-264-1800	049-264-1800
西日本ブロック					
理事長		山下典男	明修塾	086-426-5510	086-426-5511
副理事長		長井泰次	関西アカデミー	075-361-2878	075-361-7918
事務局長		村田芳昭	共学館義塾	06-6382-1224	06-6382-1560
常任理事		後田多純寿	津田塾	098-875-8600	098-876-8530
常任理事	研修局長	中村 勲	地球塾	072-492-2098	072-492-2098
常任理事		福永 洋	J 教育セミナー	079-288-6070	079-226-8320
理事	事務局長補佐	寺田圭吾	あすなろ学園	079-273-2561	079-273-2558
理事	「通信」担当	平野芳英	I 塾	0745-23-4810	0745-23-4810
理事		堀 泰隆	ひのき学習塾	06-6325-0434	06-6325-0434
理事		杉山信良	栄光塾	072-971-1092	072-971-1092
理事	会計	藤井寿比古	藤井塾	078-412-5423	078-412-5423

NPO 塾全協の「長〜い一日」のレポート

日時：2016年（平成28年）5月29日（日） 12:30～19:30

場所：アットビジネスセンター 東京八重洲口

文と写真：NPO 塾全協全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和（むさし野ゼミナール）

NPO 塾全協 東日本ブロック総会、全国常任理事会、全国総会

12:30～13:00 東日本ブロック総会

平成27年度の事業報告、決算報告が承認され、新年度の役員の変更が行われ、東日本ブロック新理事長には内藤潤司先生（ソロモン総合学院）が選ばれました。そして平成28年度の事業方針、予算案が承認されました。

13:00～13:30 全国常任理事会

13:30～14:00 全国総会

平成27年度の事業報告、決算報告が承認されました。そして新全国会長には沼田広慶先生（北辰館スクール）が選ばれました。そして平成28年度の事業方針、予算案が承認されました。その他、今後役員の数なども考え直そうという提案も出されました。



←挨拶をする後田多純寿全会長。10年間、本当にご苦労様でした。後田多先生は今後も常任理事として残られます。

第15回 中高入試を考える会

15:00～17:00 参加者：約60名

↓東京私立中高協会副会長
實吉幹夫先生の挨拶



①中学入試 講師：森上展安氏（森上教育研究所）

2月1日の中学受験比率は2008年の14.8%から昨年の12.2%と下がる一方だったが、今年は12.6%と4年前の水準まで持ち直した。受験者数の増減は、レベルの高いところが増加し、低いところが現象するという二極化が明確で来年度もさらにその傾向が進むと予想される。また私立と国立は横ばいもしくは微減であるが、公立は大幅に減少した。

（「2016年6塾の合格者シェアが、50%未満の学校」という表を解説して）
これらは大手塾があまり振り向いてくれない学校で、合格者シェアが20%～30%台のところは普通に勉強して入れる学校である。この表の中にある千代

田女学園は、再来年度からは中学校を募集せず高校からのみ募集する。千代田女学園高等学校の国際バカロレアDP認定校化を推進するとともに、新たに千代田インターナショナルスクールを設置。千代田インターナショナルスクールでは、小中高一貫の国際バカロレア教育を推進する予定であり、注目される。

中学入試は今の入試問題でよいのか。人工知能に出来ないことを試験してもらいたい。そして塾も参加出来る4年生対象の合同テストをやって貰いたい。



②東京都 高校入試 講師：穴澤嘉彦氏（創育・新教育研究協会）

都立高校入試は3年連続で普通科志向で、特に女子は厳しい。専門学科の人気は下降気味。今年から入試と内申の比率が全校7:3になったため、高い内申点を利用できなくなり、（内申点の比率が高かった）専門学科から普通科へ希望者が映ったと考えられる。また実技4科の内申点が2倍に計算されるようになったが、学力上位層は相対的に実技科目で不利なため、男子は私立、女子は、チャレンジも見られるが、ランクを下げる傾向が見られた。合格率は、上位校は上がったが、中堅以下は下がった。

模擬試験で志望校を記入する欄に以前は殆どの生徒が6校記入していたが、最近は多くの生徒が1,2校しか書かなくなった。第1志望の都立と併願私立の2校である。

全日制の第二次募集・分割前期募集の募集人員は1228人で、応募者数は1441人。応募倍率は1.17倍で前年度(1.23倍)より下がり、毎年のように過去最低倍率を更新している。これは中学校の先生が、都立の一次募集で落ちた生徒には併願の私立に行くようにさせるという指導が徹底してきたからであるように思われる。



③千葉県 高校入試 講師：五十嵐裕明氏（進学研究会）

千葉県は75%が公立志望。もともと普通科志望が強く、中でも上位の学校に人気集中している。

どうしても公立という場合は、前期は専門学科、後期は普通科という受け方をする場合もある。

東葛が中学を開校したが、応募倍率は14.5倍。この学校は基本的には先取り学習はせず、高校から入って来る生徒達と同じクラスで勉強することになる。



私立は面接で公立の前期、後期の受け方を訊くことが多い。東邦大東邦は来年から高校募集を停止、市川は前期試験が5教科になるというように上位校に動きが出る。

千葉県は内申点の調整をするため、付け方が厳しくなっているが、それでも相対評価時代より高い。5教科オール4でも偏差値は真ん中程度である。

公立入試は将来は一本化するであろうが、少なくとも2年前に公表する必要があるというのが県教委の考えなので、現在の中2の受験のときは一本化されることはない。

④埼玉県 高校入試 講師：岩佐桂一氏（岩佐教育研究所）

国の就学支援金に加えて県の就学支援金が出るため、高校は公立も私立もあまり費用に違いがない。ただし、埼玉県民が埼玉県内の私立高校に入学した場合だけである。



今年は大学進学に激変が起きた。

東大と早大では以下の様に私立が公立を抜いた。

(現役/全体)

東大。。。。栄東(17/27)、浦和(4/22)、開智(13/17)・・・

早大.....開智(159/179)、栄東(126/173)、浦和(87/152)・・・

浦和高校はアクティブラーニングをやっているが、効果と弊害がある。塾はアクティブラーニングをやるのではなく、学力をつけることに専念して欲しい。

埼玉県の高校進学率は98.9%で、その65%が公立入学者であるが、公立志望者は75%。

私立高校に公的テストの偏差値記録を生徒が持って行くのは構わない。学校間格差、地域間格差、教師間格差、教科間格差があるから、埼玉県内の私立は内申を全く活用しない。

私学と私塾の新年度情報交換会

17:30～19:30 参加者約60名

声の教育社 小泉専務の乾杯の音頭でスタート。 →





学校説明会レポート 2016 (その2、その3)

文と写真：NPO 塾全協 全国事務局長・東日本ブロック広報局長 中村基和

(その2) 富士見丘中学・高等学校 (東京都 渋谷区 女子校)

日時：2016年6月15日(水) 10:30~12:15

場所：富士見丘中学・高等学校 (東京都渋谷区笹塚3丁目)

京王線笹塚駅は新宿から5分。明大前や下北沢経由で東京の多摩地区や神奈川県内からもアクセスしやすい駅です。富士見丘中高はその駅から徒歩約5分の住宅街と商店街の境目にあります。私の自宅・塾も近所のため私自身の時代から親しみのある学校です。私の中学時代は女子の都立併願校として非常に多くの受験者を集めていました。トップ校との併願も多かったです。その後都立不人気やバブルの影響で偏差値を大いに伸ばし、中学受験はなかなか厳しいものがありました。例えば小6の後半から受験勉強し始めた生徒が、特殊算などで間に合わず落ちてしまったのですが、その生徒は公立の中学に入ってから女子で学年1番になったなんて話もありました。その後、バブル崩壊、都立の復活、女子生徒の共学志向のため、他の多くの私立女子校と同様、募集に苦戦していることは否めません。



説明会は校長で日本私立中学高等学校連合会の会長でもある吉田晋先生の挨拶から始まりました。まずは富士見丘は変わった！スーパー・グローバル・ハイスクールとなってから、教師のレベルが上がったとのこと。しかし、現在私立中学の募集は厳しく、公立中高一貫校の影響も大きいと本音も出ました。



次に進路指導の伊藤有先生の大学受験の実績の説明で、「GMARCH 合格者が昨年度の 1.5 倍になった。初めて国立医学部医学科の合格者を出したが、この生徒は中学受験の Will 入試で入った。」Will 入試とは一種の単願のようなものですが、算数と国語(+英語)のテストと思考力テスト、そして父兄同伴の面接があり、軽い気持ちで受けられるものではありませんが、いわゆる受験型の生徒ではなく、意欲・思考力のある生徒を取りたいようです。2017 年に向けて、早慶上智理科大を目指して次のステージへ進みたい。海外大学への直接進学者の増加を目指したいとのことでした。

3 番目は SGH(スーパー・グローバル・ハイスクール)責任者の大島則男先生からの SGH 実践報告と展望の説明でした。教科横断型の指導をする。出来れば他の学校の最先端の先生を呼ぶ。教育理念は sustainability (広く環境・社会・経済の 3 つの観点からこの世の中を持続可能にしていくという考え方)。パッションの火を灯す。海外の生徒は「自分の国を良くしたい」という気持ちを持っているが、(震災に遭った)釜石のフィールドワークなどを通して日本の生徒達にもそういう気持ちを持つようにさせたい。アクティブラーニング、ロングホームルームを活用する。

最後に教頭の重田稔明先生からの入試制度の説明がありました。中学は 2 科 3 科。3 科とは英、理、社の中から 1 つ選ぶことです。高校は Will 入試(単願)は 3 科内申 12 以上、または英検準 2 級以上。アドバンスドコースとグローバルコースの併願は 9 科内申 30 以上、5 科 17 以上で、優遇はかなり厳しく、英検準 1 級以上となっています。また、内申が取れないが偏差値は取れている生徒は塾が連絡してくれれば何とかして貰えるようです。

説明会が終わってから校内見学をさせて貰いました。社会科(地理)は電子黒板を使つての 2 人の先生によるチームティーチング、英会話は 3 人の外国人教師によるチームティーチングと、やはり公立に比べて贅沢なことをしているなと感じました。

(その3) 千代田女学園中学・高等学校 (東京都 千代田区 女子校)

日時：2016年6月17日(金) 10:30~12:00

場所：千代田女学園中学・高等学校 (東京都千代田区四番町)



千代田区四番町という超一等地に校舎を置く千代田女学園。仏教系(浄土真宗)の学校で、西東京市の武蔵野女子学院中高は姉妹校で、その併設校の武蔵野大学とは昨年法人合併契約をしました。去る5月29日の中高入試を考える会で森上氏から「再来年度より千代田女学園は中学校の募集を停止し、高校のみの募集をする。そして武蔵野大学と連携して新たに千代田インターナショナルスクールを設置し、そこで小中高一貫の国際バカロレア教育を推進する」と訊いてビックリ!そのあとの“私学と私塾の新年度情報交換会”でも千代田女学園の先生から「今、内の先生は新しい学校の準備で大わらわ」と訊いて、こりゃ説明会に行くっきゃないと思って行って来ました。

まずは校長の豊岡稔先生の挨拶。見学の精神は叡知・温情・真実・健康・謙虚。そして千代田女学園に大きな変革をもたらすこととなった武蔵野大学との高大連携についての話がされました。指定校推薦は、去年までは学科ごとに最大3名まで20名の総枠だったのが今年からは総枠で40名まで広がりました。基準は5段階で3.6。普通の勉強をして真ん中の成績なら入れるとのこと。また薬学部も3名から4名に広がり、将来は6名を目指したいとのことでした。また他大学受験で武蔵野大学よりレベルの高い大学を目指す生徒は勿論多くいますが、女子校なので大学も女子大を目指す生徒が多いことも特色だそうです。京都女子大学に行っている生徒もいます。

次に教頭の岡田孝子先生から中学校・高等学校の取り組みについての説明がありました。まず、先日の地震の話題から入り、大地震が起きた場合、3日間過ごせるように食料がある。皇居が近いのでライフラインはしっかりしている。自衛隊の市ヶ谷駐屯地もあるので救助も大丈夫だとのことでした。教育内容では、アクティブラーニング、英語のプレゼンテーション、企業出張授業の実施、他校では珍しい香道の講座もOGによって設置されています。また朝礼では3分間目をつぶらせて、そのときのちょっとした表情で親と喧嘩してきたなどと今朝どうだったかわかるそうです。

3番目は入学広報部長の逸見和裕先生による平成29年度の中高入試の概要説明。注目すべきは特待生制度。中学入試は入試で85%程度の得点か首都圏模試53、日能研・四谷47で入学金・3年間の授業料・設備費・施設拡充費を全額免除のS特待生。(進級時に資格審査有り)。特待生はその下A、B、Cとあり、特待生C

は首都圏模試 46、日能研・四谷 40 で入学金(25 万円)を免除。ご存じの通り高校入試の偏差値 50 と中学入試の偏差値 50 は全然違いますが、首都圏模試で 46 なら基礎力のある真面目な子をちょっと鍛えれば届く偏差値で中々美味しいのではないのでしょうか。高校入試では中学入試の S 特待生に匹敵する特待生スーパーは、単願推薦の場合は適性検査で 80%程度の得点 or5 科内申 23 かつ 3 科 14or 偏差値 63。単願併願共にグローバルリーダーコースは英検 2 級取得でも可。一般では入試で 80%程度の得点もしくは偏差値 65。その下には特待生 I～Ⅲまであり、Ⅲはやはり入学金免除で、単願推薦の場合は適性検査で 70%程度の得点 or5 科内申 20 かつ 3 科 12or 偏差値 56。偏差値 56 なら狙えます！

説明会が終わってから募集担当の先生の案内で校内見学をしました。中学は 1 クラス 10 名前後で各学年 2,3 クラス。高校は 1 クラス 15～25 名くらいで各学年 4、5 クラス。非常に少人数の編成で高 3 の理系選択クラスでは 1 対 1 のクラスさえありました。この人数で特待生だったらまさしくお得です！図書室の見学もしましたが、人気のある本は書店のように平積みになっているなどおしゃれな部屋でした。終わりのほうで英会話の授業をドアの窓越しに覗いたら何と講師は塾全協お馴染みの R 先生！向こうもビックリして私の方に盛んに手を振ってくれました。最後に国際バカロレア教育の話聞いたかったのだけどと言ったら、まだその段階まで行ってないとのことでした。



NPO 塾全協東日本ブロック 今後の主な予定(2016 年度)

8 月 14 日・15 日 1 泊 2 日 第 9 回 24 時間英語合宿
9 月 19 日 (日) 東京 進学相談会
9 月 22 日 (祝) 千葉 進学相談会
10 月 2 日 (日) 埼玉 進学相談会

編集 NPO 塾全協東日本ブロック 事務局長 中山和行

〒350-0322 埼玉県比企郡鳩山町今宿 229 番地

TEL 049-296-1111 FAX 049-296-1111 E-mail gyqbt650@ybb.ne.jp

NPO 塾全協 HP <http://www.npojzk.com/>